

ナノ テクてく

2018, No. 23

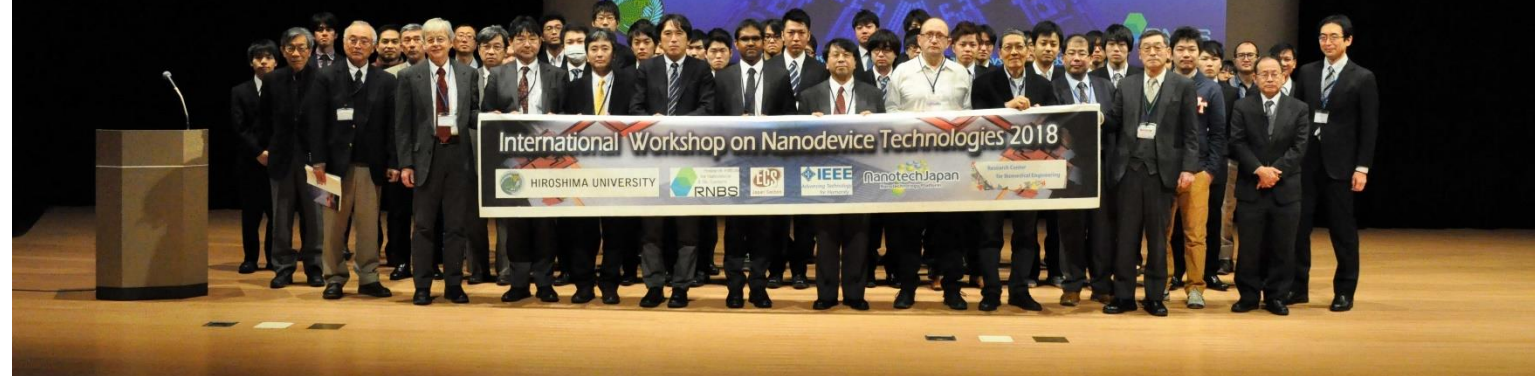
祝 平成29年度広島大学工学部第二類卒業証書・大学院学位記授与式



2018年3月23日、サタケメモリアルホールにて学位授与式が開催されました。ナノデバイス・バイオ融合科学研究所からは、学部、修士、博士合わせて20人の学生が巣立っていきました。

IWNT2018開催！

国際ナノデバイステクノロジー ワークショップ



2018年3月2日、ナノデバイス・バイオ融合科学研究所主催の国際ナノデバイステクノロジーワークショップ 2018を開催し、国内外の著名な研究者の基調講演ならびに招待講演を行いました。

予定しております。基調講演では、米国 カリフォルニア大学ロサンゼルス校のWentai Liu先生から「生体電子医療の最近の進歩」について紹介がありました。また、招待講演として6件：英国 ヨーク大学の廣畑貴文先生(ナノスピントロニクス素子)、日本ケイデンス・デザイン・システムズ社の小田川 真之氏(ニューラルネットワーク向けテンシリカDSP

会場となった広島大学内 サタケメモリアルホール



ナノデバイス・バイオ融合科学研究所と共同研究を進める多くの若手研究者・学生のポスター発表も開催され盛り上がりしました。

Bioelectronic Medicine: Wireless Miniaturized Devices for Treating Chronic Diseases and Injuries

Wentai Liu, PhD, IEEE Fellow, AIBME Fellow
Distinguished Professor
Department of Bioengineering
Department of Electrical Engineering
Brain Research Institute (BRI)

Director
Chan Soon-Shiong Bionic Engineering Research Center
California NanoSystems Institute (CNSI)

University of California at Los Angeles (UCLA)
Email: wliu@ucla.edu
Web: www.cnsi.ucla.edu/IBR

と大腸がん診断支援システムへの応用例)、スリランカ モラトゥワ大学の Anjula C. De Silva 先生(非侵襲電気生理学における乾式電極)、奈良先端科学技術大学院大学の太田淳先生(埋植型光電子デバイスによる生体機能の計測および制御)、仏国 Aix-Marseille Univ の Laurent Ottaviani 先生 (ITERにおける中性子検出の

ための炭素ベースワイドバンドギャップ半導体)および豊橋技術科学大学の澤田和明先生(神経伝達物質イメージング用バイオセンサーアレイ)が行われ、活発な研究ディスカッションが展開されました。



医歯工共同研究報告会開催！



2018年3月9日、東京工業大学すずかけ台キャンパスにて、平成29年度 生体医歯工学共同研究拠点の成果報告会が開催されました。拠点に参加している東京医科歯科大学、東京工業大学、広島大学、静岡大学とその共同研究者の方々が一同に開始、口頭発表およびポスター発表を行いました。

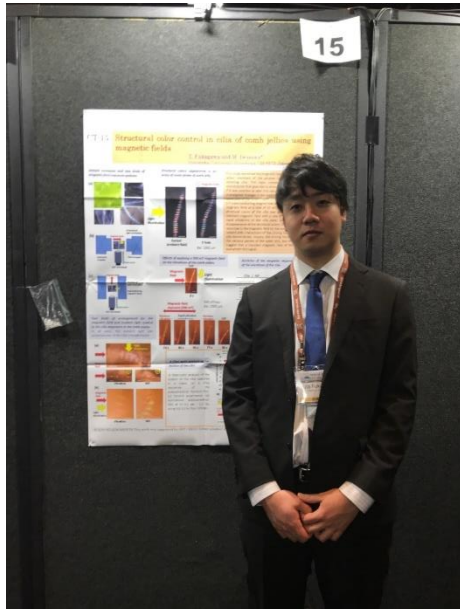
拠点長の宮原先生（東京医科歯科大）から拠点事業の経過報告がなされた後、半日の報告会にて大変熱気にあふれた研究ディスカッションが続きました。広大RNBSの横山所長から、2018年11月8～9に広島大学サタケメモリアルホールで開催予定の第3回生体医歯工学国際シンポジウムの開催準備状況の紹介もなされました。



国際学会漂流記



MMM2017 (Magnetism & Magnetic Materials) Pittsburg, Pennsylvania, USA



2017年11月上旬に米国ピッツバーグで開催された磁性材料関係の国際会議にて、RNBSに所属する工学部4年生・深川雄太君が、クシクラゲの構造色に対する磁場効果研究についてポスター発表しました。



新しいスタッフ



H30年3月～4月にかけて新しいメンバーとして、学生・院生が10数名と、研究所スタッフとして、石川特任助教および串田さん（医歯工共同研究拠点事務）が加わりました。

特任助教 石川智己
4月に着任しました石川智己と申します。もともとは物理学を専門としていまして特にモンテカルロシミュレーションを中心に研究をしてきました。こちらの研究所ではCT装置で使用するデータ処理技術の研究をさせて頂いています。以前の研究とはかけ離れていますが新しいことを始めるのは何歳になってもよい刺激になります。日本も久々に、生活がルーズになってしまっているためゴミの分別などで苦労の毎日です。



編集後記 今回取りまとめにあたり、お写真を提供あるいはご寄稿頂いた方々に感謝申し上げます。
(岩坂正和)